

北海道高等学校教育研究大会 第59回 大会案内

研究主題	北海道の新たな時代を拓く高等学校教育の創造
大会期日	令和4年(2022年)1月12日(水)、13日(木)
主催	北海道高等学校教育研究会
後援	北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道高等学校長協会 北海道私立中学高等学校協会 公益財団法人日本教育公務員弘済会北海道支部

《第1日目》 全体集会

YouTube上で参加申込者限定配信

開会式に引き続き、講演。

(講演時間は約2時間を予定しております。)

配信期間

令和4年(2022年)1月12日(水)13:00から1月18日(火)17:00

講演 演題

「未来へつながるリベラルアーツ

—Society 5.0 時代の古典の価値—

講師 能楽師(ワキ方、下掛宝生流)公認ロルファー
関西大学 特任教授

安田 登 氏

琵琶演奏 塩谷 和之 氏



【講師プロフィール】

1956年千葉県銚子市生まれ。高校時代に甲骨文字と中国古代哲学への関心に目覚める。高校教師時代に能と出会う。27歳でワキ方の重鎮、鏑木岑男師に入門。現在は能楽師として国内外で活躍するかたわら、能のメソッドを使った舞台作品の創作、演出、出演を手がけている。また、独自の切口で『論語』などを学ぶ寺子屋「遊学塾」を、東京(広尾)を中心に全国各地で開催する。日本と中国の古典の“身体性”を読み直す試みにも継続して取り組んでいる。

Eテレ(NHK)100分de名著『平家物語』講師。代表作として『間(平城遷都1300年記念グランドフォーラム。金梅子氏により韓国にも招聘)』、『水の夢(御茶ノ水WATERRASのこけら落とし公演)』、『天守物語(金沢21世紀美術館)』、『芸能開闢古事記(島根県委嘱)』、『おくのほそ道幻想』、『イザナギの冥界下り』、『オルフェオの冥界下り』、『結婚(ストラヴィンスキー)』、『イナンナの冥界下り』、など(以上、山のシュレ)などがある。

著書に『能 650年続いた仕掛けとは』(新潮新書)、『あわいの時代の『論語』: ヒューマン2.0』(春秋社)、『身体感覚で『論語』を読み直す』(新潮社)、『すごい論語』(ミシマ社)、『別冊NHK100分de名著 読書の学校 安田登 特別授業『史記』』(NHK出版)、内田樹氏との共著『変調「日本の古典」講義』(祥伝社)など多数。

教科別集会開催方法 (現時点での情報であり、変更になることが考えられます。最新情報は高教研ホームページをご確認ください。)

部会	オンライン配信の有無	利用配信サービス	オンデマンド配信有無	会場で開催する場合の会場
国語	有	ZOOM	しない	×
地歴 公民	有	ZOOM	未定	×
数学	有	ZOOM YouTube	する	×
理科	有	ZOOM	しない	×
保健 体育	有	ZOOM	しない	×
養護	有	ZOOM	する予定	×
芸術	未定	未定	未定	道民活動センター (かでの2・7) 札幌市中央区北2条西7丁目 ☎(011)204-5100
英語	有	ZOOM	しない	×
家庭	有	ZOOM	しない	×
農業	有 ハイブリッド式	ZOOM	しない	ホテルライフオート札幌 札幌市中央区南10条西1丁目 ☎(011)521-5211
工業	有	ZOOM	する	×
商業	有	ZOOM	しない	×
水産	有 ハイブリッド式	ZOOM	しない	北海道小樽水産高等学校 小樽市若竹町9番1号 ☎(0134)23-0670
情報	有 ハイブリッド式	ZOOM	する	北海道札幌北高等学校 札幌市北区北25条西11丁目 ☎(011)736-3191

※各会場ともに冬期は特に駐車場はありませんので、自家用車はご遠慮ください。
※会場への交通機関は高教研公式サイト各教科ホームページをご覧ください。

高教研ホームページ
<http://d-kokyoken.jp/>



◎大会参加申込

申込方法 大会参加を希望する方は、学校長または所属長を通じ、各学校または所属機関ごとに、直接本部事務局までお申し込みください。
なお、参加申込要領は北海道高等学校教育研究会のホームページでご確認ください。

申込期間 参加申込の受付期間は、11月19日（金）から11月30日（火）までとなっています。
この期間を過ぎたら、当日会場に設けた「当日参加受付」で参加手続きを行ってください。
今年度は全体集会の当日参加はありません。教科別集会も会場開催を行っている部会のみ可能となります。

参加料 会員の方は、2000円、非会員の方は、3500円となります。参加申込要領に従って、各学校、または、所属機関ごとにお支払ください。
高等学校教員の方は2日間のいずれかしか参加できない場合でも参加料は同じです。一般参加の対象となりません。
一般の方の参加料は、1日目の全体集会が1000円、2日目の教科別集会が1500円となります。

大会参加証 「参加証兼お知らせ」は、12月中旬までに、学校長または所属長あてにお送りしますので、お受け取りください。
この参加証に全体集会の視聴に必要な事項が記載されていますので、大切に保管してください。
また、教科別集会の会場へもご持参ください。

【お願い】 参加申込や参加料の納入が遅れると、参加証の発送作業が遅れます。早めの手続、ご協力をお願いします。

参加申し込みからオンライン配信視聴までの流れ

参加申し込みをされた方に「参加証兼お知らせ」を送付します（12月）
（「配信情報一覧」のパスワードが記載されています）

高教研サイトから「配信情報一覧」をダウンロードし
「参加証兼お知らせ」に書かれているパスワードで開く

「配信情報一覧」で全体会、教科別集会の配信情報
（URL, ミーティングID, パスワード等）を確認する

事務局より

中央教育審議会会長である渡邊光一郎第一生命ホールディングス会長は、令和2年度文部科学白書の特別寄稿のなかで、『我が国は、Society 5.0 の時代を迎えようとしています。これは、単にデジタルトランスフォーメーションを具体化した社会を目指すことを意味するのではなく、人中心の創造社会・誰一人取り残すことのない持続性ある社会を目指そうとする考え方です。全ての人々がそうした時代を生き抜くために必要な力を身につけて活躍できるようにする上で、また、一人ひとりのwell-being(幸せ)を実現する上でも、教育が果たす役割は重要だと考えています。』と述べられております。

また、数学研究者・ジャズピアニストであり、STEAM教育者でも有名な中島さち子氏は『STEAM (Science : 科学、Technology : 技術、Engineering : 工学、Arts : 芸術・リベラルアーツ、Mathematics : 数学 の頭文字) とは、創造的・実践的・横断的でPlayful (プレイフル) な学び方、ワクワク (興味・関心) を軸とした「創る」と「知る」の循環を指すこと。』と話されており、より多くの子どもたちにSTEAM教育という創造の楽しさが味わえるような場を作り、「ワクワク」や「ドキドキ」の体験を経験させたいと、ご自身で「株式会社steAm」を立ち上げられました。

今年度の第59回全体集会では、能楽師（ワキ方、下掛宝生流）の安田登氏に「未来へつながらりリベラルアーツ Society 5.0 時代の古典の価値」と題して講演をしていただきます。これからの高校教育におけるキーワードとなる「Society 5.0」や「STEAM教育のArts : 芸術・リベラルアーツ」が演題にも含まれております。この全体集会が、皆さまの今後の教育活動における一助となりますことを期待しております。今年度は初めてのオンライン開催となりますが、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

高教研本部事務局

〒064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5-18 市立札幌旭丘高等学校内

Tel 011-513-2238 Fax 011-513-2244

e-mail d-kokyoken@sapporo-c.ed.jp